



目次

- 2 平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う
県土整備部の対応状況等



美しい 県土づくりNEWS



岩手県 県土整備部
手づくり広報誌 81 号
平成 23 年 4 月 20 日発行
編集 県土整備企画室



東日本大震災特集号！！

～ 大災害からの復興に向かって「がんばろう！岩手」～

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃、東日本大震災(平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害)が発生しました。県内では、最大震度 6 弱を観測したほか、地震によって発生した最大 8.5m を超える大津波が三陸沿岸地域を襲い、市街地がほぼ壊滅するほどの被害を受けた地域もあるなど、各地に甚大な被害が発生しました。

県では、この未曾有の大災害を県民一丸となって乗り越えるため、発生から 1ヶ月が経過した 4 月 11 日に「がんばろう！岩手」宣言を行いました。県民のみなさんと力を合わせ、1歩ずつ復興に取り組んでいきます。

陸前高田市の状況(被災後)



(被災前)

平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波災害 に伴う県土整備部の対応状況等

県土整備企画室

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃、三陸沖を震源とする M9.0 の平成 23 年東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震は、日本の観測史上類を見ない規模の大地震であり、1900 年以降に世界で発生した地震の中でも 4 番目の規模となる大地震でした。

県内では、最大震度 6 弱を観測したほか、地震によって発生した最大 8.5m を超える大津波が陸前高田市、大船渡市、釜石市などの三陸沿岸地域を襲い、陸前高田市、大槌町、山田町、宮古市（田老地区）などでは壊滅的な被害が発生しました。この地震及び津波による被害は、平成 23 年 4 月 19 日 17 時現在で死者 4,047 名、行方不明者 3,759 名、家屋倒壊数 18,787 棟となっていますが、未だ被害の全容は明らかになっていません。

公共土木施設の被害は、国土交通省所管の防潮堤延長約 25km の約 5 割にあたる約 14km 区間に被害が発生し、このうち約 2 割にあたる約 5km は全壊するなど、海岸関係だけで 46 箇所、約 1,290 億円の被害となり、県、市町村合わせた全体の被害額は、平成 23 年 4 月 5 日現在で 2,567 億円余りとなっています。

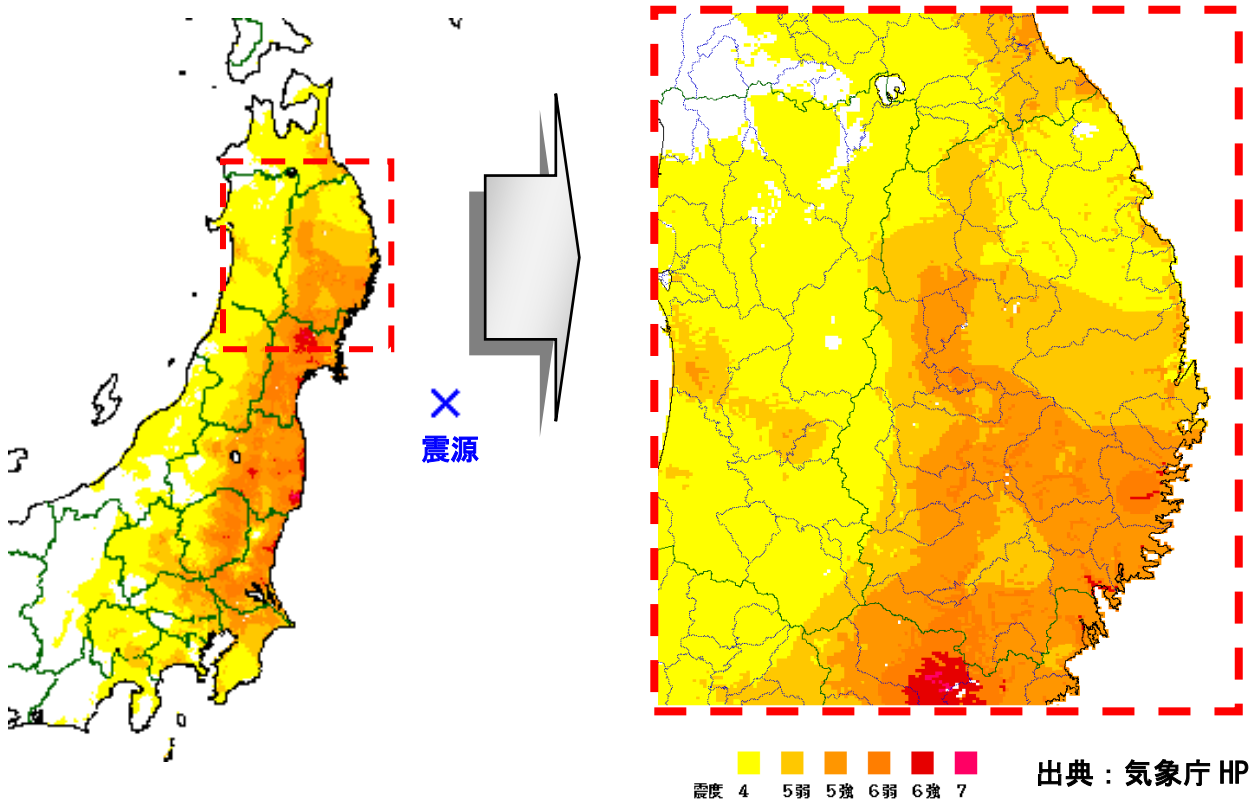
県では、この未曾有の大災害を県民一丸となって乗り越えるため、発生から 1 ヶ月が経過した 4 月 11 日に、達増知事が釜石市で「がんばろう！岩手」宣言を行いました。

全国、そして世界中からいただいたお見舞いや励ましを糧に、県民のみなさんと力を合わせ、一歩ずつ復興に取り組んでいきます。

【東日本大震災津波の概要】

- (1) 発生日時：平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃
- (2) 震央地名：三陸沖（北緯 38.1 度、東経 142.9 度）
- (3) 震源の深さ：24km
- (4) 規模：マグニチュード 9.0（暫定値）
- (5) 本県の震度：震度 6 弱
（大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市）
- (6) 津波：11 日 14 時 49 分 大津波警報発表

検潮所	第1波	最大波
宮古	11日 14時48分 押し0.2m	11日 15時26分 8.5m以上
釜石	11日 14時45分 引き0.1m	11日 15時21分 4.1m以上
大船渡	11日 14時46分 引き0.2m	11日 15時18分 8.0m以上



震度分布図

【公共土木施設の被害状況】

今回の地震及び津波災害による公共土木施設の被害額は、未だ沿岸部の市町村の調査が進んでいない状況ですが、現時点で、県関係が約 2,065 億円、市町村関係が約 503 億円と県全体で約 2,567 億円となっています（平成 23 年 4 月 5 日現在）。これは、これまで過去最大だった平成 14 年梅雨前線豪雨及び台風 6 号による災害の約 9 倍にも及んでいます。

単位：百万円

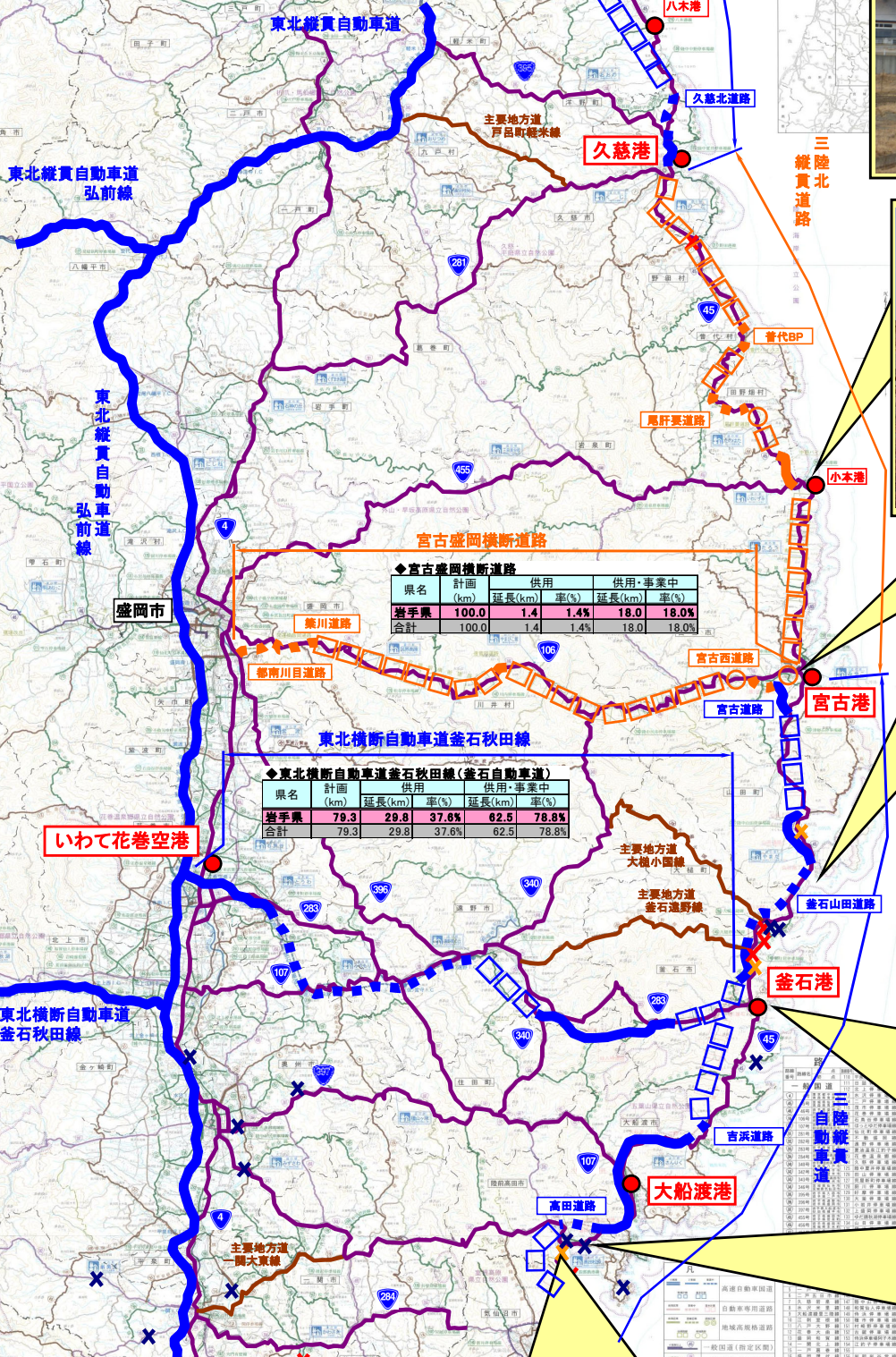
区分	県施設		市町村施設		合計		
	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	
河川局	474	161,868	566	9,281	1,040	171,149	
内 訳	河川	120	13,357	15	266	135	13,623
	海岸	46	128,868			46	128,868
	砂防	1	50			1	50
	地すべり					0	0
	急傾斜	6	180			6	180
	道路	277	16,681	528	8,435	805	25,116
	橋梁	24	2,732	23	580	47	3,312
都市・地域整備局	1	100	89	41,003	90	41,103	
内 訳	下水道			21	31,250	21	31,250
	公園	1	100	68	9,753	69	9,853
港湾局	489	44,490			489	44,490	
内 訳	港湾	479	36,690			479	36,690
	海岸	10	7,800			10	7,800
合計	964	206,458	655	50,284	1,619	256,742	

※ H23.4.5現在

平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う公共土木施設の被害状況等

◆三陸沿岸の高規格幹線道路等

県名	計画 (km)	供用		供用・事業中		備考
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)	
青森県	20.0	7.2	36.0%	17.3	86.5%	八戸・久慈自動車道
岩手県	80.0	3.2	10.7%	10.6	36.3%	八戸・久慈自動車道
	90.0	8.2	6.9%	14.9	16.5%	三陸北縦貫道路
	103.0	37.9	36.8%	64.0	62.1%	三陸縦貫自動車道
	223.0	47.3	21.2%	89.5	40.1%	三陸縦貫自動車道
宮城県	121.0	74.4	61.5%	103.8	85.8%	三陸縦貫自動車道
合計	364.0	128.9	35.4%	210.6	57.8%	

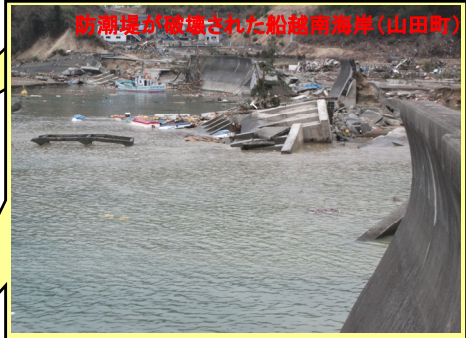


◆宮古盛岡横断道路

県名	計画 (km)	供用		供用・事業中	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
岩手県	100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%
合計	100.0	1.4	1.4%	18.0	18.0%

◆東北横断自動車道釜石秋田線(釜石自動車道)

県名	計画 (km)	供用		供用・事業中	
		延長(km)	率(%)	延長(km)	率(%)
岩手県	79.3	29.8	37.6%	62.5	78.8%
合計	79.3	29.8	37.6%	62.5	78.8%



- 【凡例】
- 高規格幹線道路
 - ■ ■ : 供用中
 - □ □ : 事業中
 - □ □ : 計画区間
 - 地域高規格道路
 - ■ ■ : 供用中
 - □ □ : 事業中
 - □ □ : 計画区間
 - ○ ○ : 調査区間
 - : 港湾・空港
 - <道路の通行止め状況>
 - × : 全面通行止め(国管理) (迂回路有り)
 - × : 全面通行止め(県管理) (迂回路無し)
 - × : 全面通行止め(県管理) (迂回路有り)

道路種別	区間	通行止め	解除日時
高規格幹線道路	八戸・久慈自動車道	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	三陸北縦貫道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	三陸縦貫自動車道	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	宮古盛岡横断道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	東北横断自動車道釜石秋田線(釜石自動車道)	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	東北縦貫自動車道弘前線	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	東北縦貫自動車道弘前線	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	東北縦貫自動車道弘前線	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	東北縦貫自動車道弘前線	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	東北縦貫自動車道弘前線	全面通行止め	平成23年3月25日17時
地域高規格道路	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	釜石山田道路	全面通行止め	平成23年3月25日17時
一般国道(予定区間)	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時
	国道340号	全面通行止め	平成23年3月25日17時

※ 全面通行止め箇所は平成23年4月12日17時時点

【応急仮設住宅の建設状況等】

県では、被災者の生活再建に向けて、応急仮設住宅の必要戸数を 18,000 戸とし、災害から半年以内に完成・入居することを目標として建設を進めています。4月18日現在で46団地3,748戸の建設に着工しており、さらに、4月22日までに30団地2,013戸に新たに着工し、着工済み戸数は11市町村で合わせて76団地5,761戸となる予定です。そのうち、4月20日までに226戸が完成しており、4月末までには合わせて654戸が完成する予定です。

現在、必要戸数の約7割にあたる約12,000戸の用地を確保しており、残る約6,000戸についても用地の選定を進めているほか、県内の建設事業者等が有する住宅建設能力を最大限活用し、応急仮設住宅の建設を加速させるため、4月18日から5月2日まで建設事業者の一般公募も行っています（募集戸数2,000戸以上）。

被災者の生活支援のため、1日でも早い完成を目指して、引き続き建設を進めていきます。

また、県では、被災者の住まいに関する相談に対応するため、「住まいのホットライン」を設置しているほか、被災住宅の補強・修繕方法の検討などについて建築の専門家が住宅を点検するなどしてアドバイスを行う「被災住宅点検相談」を実施中ですので、ご相談などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。



陸前高田市の市立第一中学校グラウンド



盛岡市の昭和園グラウンド

● 住まいのホットライン

〔対象となる方〕地震及び津波で被災し住まいにお困りの方や被災者のサポートを行っている方

〔電話番号〕 **0120-882-606** (フリーダイヤル)

〔相談受付時間〕 9時～18時

● 被災住宅点検相談 ※ 相談費用は県が負担

〔対象となる方〕地震及び津波により被災した住宅の所有者等

〔受付窓口〕 (社)岩手県建築士会 **019-654-5777**

(社)岩手県建築士事務所協会 **019-651-0781**

〔相談受付時間〕9時～17時(土日祝日を除く)

応急仮設住宅の建設事業者公募の詳細については、こちらの県土整備部 HP をご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=4266&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=4266&cd=31952>

【国への要望等】

今回の地震津波による甚大な被害を踏まえ、県では、平成 23 年 4 月 1 日に池口国土交通副大臣、平成 23 年 4 月 16 日に大島国土交通大臣に対して、「平成 23 年度東北地方太平洋沖地震及び津波災害に関する緊急要望」を実施しました。

4 月 16 日の大島国土交通への要望では、達増知事から「応急仮設住宅の供給促進」、「公共土木施設等の早期復旧」、「復興事業としての社会資本整備等の促進」、「被災市町村に対する技術支援の強化」など 7 項目を要望し、大島国土交通大臣からは、「応急仮設住宅について、5 月中には 3 万戸分の資材を準備できるので、発注を急いで欲しい。被災市町村への技術支援については、人手が足りなければ派遣する」などの回答がありました。

県では、被災地の早期復興のため、今後とも国に対し、必要な要望を行っていきます。

平成 23 年度東北地方太平洋沖地震及び津波災害に関する緊急要望

平成 23 年 4 月 16 日 岩手県

- 1 ライフラインの早期復旧
- 2 応急仮設住宅の供給促進
- 3 災害廃棄物（がれき）の早期処理
- 4 公共土木施設等の早期復旧
- 5 復興事業としての社会資本整備等の促進
- 6 被災市町村に対する技術支援の強化
- 7 鉄道等公共交通の早期復旧等に対する全面的な支援港湾・海岸整備事業の促進

【国土交通省出席者】

- 国土交通大臣 大島 章宏
- 国土交通大臣政務官 市村 浩一郎
- 総合政策局長 北村 隆志
- 河川局長 関 克己
- 住宅局長 川本 正一郎
- 東北運輸局長 清谷 伸吾
- 東北地方整備局長 徳山 日出男 ほか

国土交通大臣
大島 章宏 様

平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び
津波災害に関する緊急要望

平成 23 年 4 月 16 日

岩手県災害対策本部 本部長 達増 拓也
岩手県知事



【「がんばろう！岩手」宣言】

～ 「がんばろう！岩手」宣言 ～

3月11日の東日本大震災津波から1ヵ月が経ちました。

岩手では、大勢の方が犠牲となり、行方不明となっている方も数多くいます。また、多くの方が家を失うなどして、避難生活を強いられています。

岩手は、これまで、明治、昭和の三陸大津波や、カスリン、アイオン台風、チリ地震津波、岩手・宮城内陸地震など、何度も大きな自然災害に見舞われてきました。しかし、先人は、決してくじけず、これらの苦難を乗り越えてきました。今回の大災害も、岩手の豊かな自然のもと育まれてきた自立と共生の心があれば、必ずや克服することができます。

宮沢賢治は、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉を残しました。

私たち岩手県民は、皆で痛みを分かち合い、心をつなげて、被災された方々が「衣」「食」「住」や「学ぶ機会」「働く機会」を確保し、再び幸せな生活を送ることができるようにしていきます。また、犠牲となられた方々のふるさとへの思いをしっかりと受け止め、引き継いでいきます。

どんなに長く厳しい冬が続いても、暖かい春は必ず訪れます。

全国、そして世界中からいただいたお見舞いや励ましを糧に、県民みなで力を合わせ、希望に向かって一歩ずつ復興に取り組んでいくことを誓い、「がんばろう！岩手」をここに宣言します。

平成23年4月11日

岩手県民を代表して 岩手県知事

達増拓也

平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波災害に伴う県土整備部の対応状況等については、こちらの県土整備部HPをご覧ください（県土整備部〔東北地方太平洋沖地震災害情報〕）。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4266&ik=3&pnp=66&pnp=4266>